

横川

七二

一九八一年八月二十九日

林道烏川線の第七号橋から沢に入る。この沢は横川とよばれている。

尾根一つ隔てただけで、反対方向に流れている小川の支流と同じ名前である。

九時四〇分、わらじをつけて出発する。すぐ左に支流(上文殊沢)を分け、そちらに入る西・阿部パーティを見送る。水量は、右の横川の方が多し。横川側には小さな滝がかかっていて、先を期待させたが、すぐ平凡な河原となってしまう。

河原はずっと続く。時々二〜三回の小滝が出てくるだけで、何の変化もない。

一二時二〇分、地形を判断して遊

上文殊沢(仮称)

七二

一九八一年八月二十九日

行終了とし、右岸の尾根に向かつて登る。五分程で尾根に出る。尾根には、廃道化した道があった。

(記)

「タイム」七号橋(九:四〇)↓終了

(一一:二〇)↓尾根(一二:二五)

烏川林道ゲートに車を置いて出発。一時間半ほどで横川出合。きれいな水の流れた。一〇分としないうちに

右岸から支流が入る。今日の予定はこの支流(上文殊沢と仮称する)の遊行だ。本流の方には、何となく滝が

